



2025.3.31
大塚 恭子

朝夕の寒暖差はありますが、日中は日差しが暖かく、戸外遊びが心地よい季節となりました。小さな草花を見つけると「お花があったよ」「これでごちそう作ろう」と保育者や友だちに見せたり、遊びの中に取り入れたりして、子どもたちも春の訪れを感じています。

この一年間、子どもたちの笑顔にパワーをもらい毎日楽しく過ごすことができました。子どもたちの成長する姿や自信を持って行動する姿を保護者の皆様と一緒に見守らせていただいたことを嬉しく思っております。至らない点もあり、ご迷惑やご心配をおかけしたこともあったかと思いますが、いつも温かく見守り、ご理解をくださいました保護者の皆様に心から感謝を申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。



ひよこぐみ

入園した頃は、まだハイハイもできなかった子どもたちも歩行が安定し、走ったり、年上児の真似をしてジャンプをしようしたりと活発に楽しむ姿が見られるようになりました。また、自分で食べることができるようになり、手づかみやスプーンで意欲的に食べ、「おかわり」と空になった食器を指差しおかわりをして食べています。お腹いっぱいになると満足し自ら口を拭こうとしています。言葉も少しずつ増えてきて、片言ながら保育者に自分のしてほしいことを伝えたりする姿もあり、やりとりする楽しさを味わう姿に成長を感じています。



いすぐみ

春は、歩行が安定せずふらつきながら歩く子どもたちでしたが、今では、友だちと一緒に園庭でかけっこを楽しんだり、手を繋いでリズムに合わせて歩いたりして楽しんでいます。しっかり遊ぶと給食の時間が待ち遠しく、給食の準備が始まると「たべたいな」「きゅうしょくなに」と、楽しみにしている声が聞かれます。ブロックで列車を作れる子も増え、友だちと一緒に走らせながら『きしゃ、きしゃ、しゅっぱ、しゅっぱ〜♪』と、楽しそうな歌声も…♡友だちとの関わりが増えたりすぐみの子どもたちです。



うさぎぐみ

毎日の生活を通して食事や排泄、衣服の着脱など身の回りのことを自分でできるようになりました。友だちと遊ぶことを楽しむ中で、言葉のやりとりが盛んになり、見立て遊びやなりきり遊びが盛り上がっていました。時には、思いがぶつかってケンカになることもありましたが、すぐに仲直りをしている姿に、友だちの存在の大きさを感じました。笑ったり、泣いたり、そして再び笑ったりと笑顔の多いうさぎぐみの子どもたちです。

4月からは、ひえづこども園での生活が始まります。初めは誰でも不安な思いをすることがあると思いますが、笑顔で楽しく過ごせるようにと願っています。



【職員について】

